

# ジフテリア・破傷風の予防接種について(二種混合)

## ジフテリア・破傷風について

### (1) ジフテリアについて

ジフテリア菌の飛沫感染で起こります。感染は主にのどですが、鼻腔内にも感染します。症状は高熱、のどの痛み、犬吠様のせき、嘔吐などで、偽膜と呼ばれる膜がのどにできて窒息死することもあります。発病2~3週間後には、菌の出す毒素によって心筋障害や神経麻痺を起こすことがありますので、注意が必要です。

### (2) 破傷風について

破傷風菌はヒトからヒトへ感染するのではなく、土の中にいる菌が、傷口からヒトの体内に入ることによって感染します。菌が体の中で増えると、菌の出す毒素のために、筋肉のけいれんを起こし、治療が遅れると死亡することもあります。患者の半数は、本人や周りの人では気がつかない程度の軽い傷が原因です。土中に菌がいるため、感染する機会は常にあります。

## 沈降精製 DT(ジフテリア・破傷風)トキソイド

ジフテリアトキソイド及び破傷風トキソイドを混合した不活化ワクチンです。

この予防接種は、幼児期に三種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風)又は四種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ)の予防接種の1期初回・追加で得られた免疫が、年とともに低下してくるので、再度追加接種をして免疫を高めるものです。

この接種が効果をあげるためには、1期初回・追加の接種を完全に受けているか、少なくとも1期2回と追加の接種を受けていることが大切です。今回はじめて1回だけ受けても、免疫はできませんので、1期の接種が不十分な人は医師に相談してください。

## 副反応

主な副反応としては、局所反応として接種部位発赤・腫脹(はれ)・硬結(しこり)など、全身反応として発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、下痢、めまい、関節痛などが認められることがあります。いずれも一時的なもので、通常2~3日で改善します。硬結(しこり)は1~2週間残ることがあります。0.1%未満と非常にまれですが、重大な副反応としては、アナフィラキシーが起こることがあります。

### 対象者

#### 通知時期

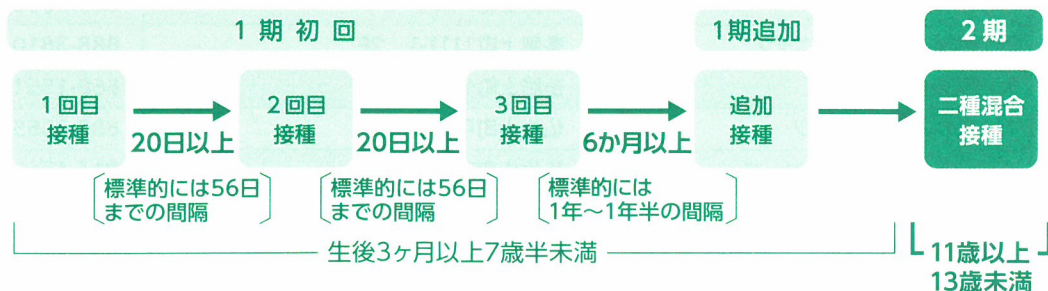
11歳を迎える月の翌月

#### 接種対象年齢

11歳以上13歳未満

※対象年齢を過ぎると、公費での接種は受けられなくなります。

(三種混合又は四種混合ワクチンの場合)



※生後3ヶ月以上7歳半未満の間で、三種混合ワクチン又は四種混合ワクチンを規定回数接種していない方は、医師に御相談ください。

### 接種時に持参するもの

- ① 二種混合予防接種予診票
- ② 母子健康手帳(接種歴を確認するとともに、予防接種を受けたことを記録します。)